

イ 北アルプス市町村会館



(1) 経緯

北アルプス市町村会館（旧大北福社会館）は、社会福祉を中心とした教育文化・自治活動のための施設として昭和50年4月に設置されました。

その後、老朽化が進んだことに伴い、平成24年度に大北福社会館耐震化・大規模改修研究委員会を設置し、今後の方向性について検討しました。

平成25年度には耐震診断を実施し、震度6～7程度の規模の地震により倒壊、又は崩壊する危険性があることが判明しました。

この診断結果のほか、当会館が近隣自治会の指定避難所等になっていることなどを踏まえ、耐震補強と必要最小限の改修を実施することとなり、平成28年度に耐震・改修工事を実施しました。

また、平成30年8月から、広域的な施設であることを明確化するとともに、近隣の社会福祉施設との混同を避けるため、名称を「北アルプス市町村会館」に改めました。

(2) 現状と課題

現在、北アルプス市町村会館には、広域連合のほか、大北社会福祉事業協会、北安曇教育会、大北市町村教育委員会連絡協議会、大北地区更正保護サポートセンターの4団体が事務所を置いています。



また、会館内の会議室の貸出を行っており、利用促進のため貸し出し単位を時間単位としていますが、コロナ禍の影響もあり、会館内に事務所を置く団体以外の利用は減少傾向にあります。

(3) 今後の方針と施策

今後も引き続き、社会福祉・教育文化・自治活動の向上のため、また、指定避難所、福祉避難所として会館の環境整備と適切な維持・管理に努めます。

地域の住民に親しまれる会館となるよう、広報紙やホームページで会議室の有効利用等について周知・広報に努めます。

■SDGsの目標との関連

SDGs17の目標		関連目標
 4 質の高い教育を みんなに	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する	社会福祉・教育文化・自治活動の向上のため、会館の環境整備と適切な維持・管理に努める
 11 住み続けられる まちづくりを	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市および人間居住を実現する	指定避難所、福祉避難所として会館の環境整備と適切な維持・管理に努める